

大津市

大津市における精神障害にも対応した 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

大津市は、精神科医療機関や地域の資源が多く、相談窓口も増加しつつある。医療と福祉の丁寧な連携による地域移行を推進するとともに、精神的に課題を抱える市民への早期対応が可能な精神保健福祉に関する支援体制を充実させることで、一人ひとりが尊重され、誰もが地域で自分らしく生活を継続できる地域包括ケアシステムの構築を図っている。

1 中核市の基礎情報

大津市




取組内容

- ①自立支援協議会精神福祉部会（協議の場）の開催、長期入院者の地域移行に向けた関係者の連携強化
- ②早期介入・支援事業運営会議（協議の場）の開催、アウトリーチ支援の充実と連携に関する協議
- ③未受診、受診中断、入退院を繰り返す方を対象とする早期介入・支援事業によるアウトリーチ支援

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数 (R6年11月時点)	1	か所		
市町村数 (R6年11月時点)	1	市町村		
人口 (R6年11月時点)	343,609	人		
精神科病院の数 (R6年11月時点)	5	病院		
精神科病床数 (R5年10月時点)	840	床		
入院精神障害者数 (R5年6月時点)	合計	462 人		
	3か月未満（％：構成割合）	129 人		
		27.9 %		
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	89 人		
		19.3 %		
1年以上（％：構成割合）	244 人			
	52.8 %			
	うち65歳未満	66 人		
	うち65歳以上	178 人		
退院率 (R5年6月時点)	入院後3か月時点	- %		
	入院後6か月時点	- %		
	入院後1年時点	- %		
相談支援事業所数 (R6年11月時点)	基幹相談支援センター数	4 か所		
	一般相談支援事業所数	3 か所		
	特定相談支援事業所数	22 か所		
保健所数 (R6年11月時点)	1	か所		
(自立支援)協議会の開催頻度 (R5年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	6 回/年		
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R6年11月時点)	都道府県	有・無	か所	
	障害保健福祉圏域	有	1 / 1	か所/障害圏域数
	市町村	有	1 / 1	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

事業メニュー	名称	内容	担当課
精神保健医療福祉体制の整備に係る事業 (保健・医療・福祉関係者による協議の場)	自立支援協議会精神福祉部会(年6回)	長期入院者の地域移行に向けた協議 (各精神科病院の取組紹介、長期入院者の実態調査、課題共有等)	障害福祉課
	 連携		
	早期介入・支援事業運営会議(年2回)	アウトリーチ支援、地域での生活が継続できるための資源の充実にに向けた協議 (往診事例の共有、拒否的な事例に対する支援方法の整理、重層的支援体制整備事業の紹介等)	保健所保健予防課
精神障害を有する方等の地域生活支援に係る事業	精神保健福祉に関する早期介入・支援事業 (アウトリーチ事業:愛称「かけはし」)	未受診・医療中断・入退院を繰り返す方に対して、多職種チームが早期に介入し継続的に関わることで適切な医療や支援に繋ぎ、地域生活の安定を図る。	保健所保健予防課

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

・これまでの「自立支援協議会精神福祉部会」で地域包括ケアシステム構築に向けて協議していたが、令和4年度に「精神保健福祉に関する早期介入・支援事業」を開始し、早期介入・支援事業の運営会議も協議の場とした。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和5年度末までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R5年度当初)	実績値 (R5年度末)	具体的な成果・効果
①地域包括ケアシステム構築に資する協議の場の開催	年8回	年8回	<ul style="list-style-type: none"> ・市内精神科病院の長期入院者の現状と課題、地域移行に関するニーズ等が把握できた。医療と地域の関係機関で課題を共有し、地域移行に関する提言書を作成。 ・医療や支援に拒否的な事例について課題を整理し、支援ノウハウの共有が行えた。 ・協議の場に参画する構成機関が増え、関係者が顔の見える関係を作り、互いの役割を理解することで、大津市版の地域包括ケアシステムについて検討することができた。
②早期介入・支援事業による支援数(類型)	20件	23件	<ul style="list-style-type: none"> ・受診や支援を拒否する対象者に対して、丁寧な関係づくりを行うことにより、支援体制を構築し、地域で安心して暮らすことができています。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

精神科医療機関や地域の資源が多く、支援の入り口となる相談窓口も増加しつつある。自立支援協議会精神福祉部会と早期介入・支援事業運営会議において定期的な協議の場を設け、両輪となって丁寧な地域移行と早期対応を推進している。早期介入・支援事業では保健所内に専任チームがあり、未受診・治療中断等の方に丁寧に支援することで課題を整理しやすい体制がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
関係機関の綿密な連携と地域課題の共有が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場への参加機関を増やし、地域移行と早期対応に関する課題解決に向けた検討を取組に繋げる。 ・各医療機関や地域事業所、行政等の取組を共有し、相互理解を図る。 	行政	法改正や施策について情報提供、課題整理
		医療	取組紹介、課題・ニーズ抽出、参画・協力
		福祉	医療との連携、地域移行・定着の取組
		その他関係機関・住民等	協議の場に参画、医療・福祉・行政との連携
支援を拒否する方に対して丁寧なアウトリーチ支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・早期介入・支援事業による多職種チームを保健所内に設置し、丁寧なアウトリーチ支援を行う。 ・支援ノウハウを蓄積・整理し、関係機関と共有することで、可能な限り地域で繋がりを続けることができるようにする。 	行政	アウトリーチ支援、疾患理解の促進
		医療	関係機関との連携、患者との関係づくり
		福祉	関係機関との連携、サービスの充実
		その他関係機関・住民等	アウトリーチ支援に協力、疾患理解

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R6年度当初)	目標値 (R6年度末)	見込んでいる成果・効果
①地域包括ケアシステム構築に資する協議の場の開催	8回	8回	関係機関での課題共有、地域移行と早期対応を推進するための検討
②早期介入・支援事業による支援数	14件	20件	地域生活の安定、支援力の向上

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

大津市保健所保健予防課が、障害福祉課、精神科医療機関、障害福祉サービス事業所、当事者、家族会等が参画する自立支援協議会精神福祉部会において定期的に協議を行っている。また、令和4年度に開始した精神保健福祉に関する早期介入・支援事業の運営会議において、医療機関を含む関係機関と地域の課題や今後の体制について協議している。

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
保健所保健予防課	精神疾患の方・疑われる方、ひきこもり等の相談支援、自殺対策、研修、普及啓発	すこやか相談所	健康相談、保健指導、育児相談等
障害福祉課	自立支援協議会の運営、福祉サービスの支給決定、虐待対応、障害者プラン策定	長寿政策課	高齢者支援、認知症施策、高齢者福祉計画策定等
		地域包括支援センター	介護・福祉サービス、権利擁護、高齢者虐待等の相談
		生活福祉課	生活保護法・生活困窮者自立支援法に基づく支給・支援
		重層的支援推進室	重層的支援体制の整備、多機関協働事業

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	保健所内の保健予防課とすこやか相談所が連携して相談対応している。	地区担当制で地域に密着した7か所のすこやか相談所で定期的に連絡会を開催し、情報共有を行っている。必要に応じてケース検討会や精神保健福祉相談が活用可能。
医療	市内の精神科医療機関が協議の場に参画している。	精神神経科医会や精神科医療機関の意思も含めて、意見交換を行い、受診に関する課題共有や顔の見える関係を築いている。
福祉	相談支援事業所、自立支援協議会、障害福祉課、保健所保健予防課は、双方の協議の場に参加し、各々の会議が連動した内容としている。	自立支援協議会精神福祉部会で地域移行に向けた協議を行っている。地域移行支援に携わる相談支援事業所が少ない。
その他関係機関・住民等	庁内関係部署、社会福祉協議会、精神保健福祉センターにも協議の場への参画を呼び掛け、必要に応じて連携している。	重層的支援推進室、社会福祉協議会等の事業とも連携できる体制がある。協議の場の参加者以外への周知、啓発が課題。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
自立支援協議会精神福祉部会	保健・医療・福祉関係機関、行政担当者、家族、当事者等	6回/年	情報共有、課題の検討、研修会の企画運営	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者同士で顔の見える関係を築くことを目指している。 ・家族会や当事者の意見を取り入れることができている。
早期介入・支援事業運営会議	医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会、就業・生活支援センター、自立支援協議会、庁内関係各課	2回/年	事業運営に関する評価検討、地域包括ケアシステム構築に関する協議の場としての評価検討	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉の関係機関のメンバーで構成されている。 ・精神保健福祉センターより技術協力がある。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	医療・福祉・保健の関係機関が長期入院患者の現状を理解し、地域移行に向けた課題を共有する。
スモール ステップ	市内の精神科医療機関等による地域移行に向けた取組みを共有し、課題の共有と改善に向けて意見交換する。

時期(月)	実施内容	具体的な取組
R6年5月	自立支援協議会精神福祉部会	提言書の完成・共有、早期介入・支援事業の紹介・意見交換
R6年7月	自立支援協議会精神福祉部会	精神科病院による地域移行を進めるための取組紹介① 精神保健福祉法改正について
R6年9月	自立支援協議会精神福祉部会	精神科病院による地域移行を進めるための取組紹介② 日中サービス支援型ホームの状況共有
	早期介入・支援事業運営会議	早期介入・支援事業から見えた効果と課題(グループワーク)
R6年11月	自立支援協議会精神福祉部会	精神科病院による地域移行を進めるための取組紹介③ 医療観察法に関する学習会
R7年1月	自立支援協議会精神福祉部会	精神科病院による取組紹介を踏まえた意見交換
R7年2月	早期介入・支援事業運営会議	大津市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの方向性について整理
R7年3月	自立支援協議会精神福祉部会	地域包括ケアシステム研修会開催